

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名 オンキヨー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6628 URL http://www.jp.onkyo.com
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大舘 宗徳
 問合せ先責任者 （役職名）代表取締役副社長 （氏名）中野 宏 TEL 06-6226-7343
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,091	7.2	824	-	1,315	-	1,052	-
25年3月期第2四半期	15,937	23.8	624	-	884	-	824	-

（注）包括利益 26年3月期第2四半期 81百万円（-％） 25年3月期第2四半期 1,091百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.11	0.00
25年3月期第2四半期	13.41	0.00

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	28,485	6,121	19.9	92.25
25年3月期	27,287	6,179	20.8	92.31

（参考）自己資本 26年3月期第2四半期 5,673百万円 25年3月期 5,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	12.6	1,000	35.0	500	30.1	400	8.5	6.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	61,903,165株	25年3月期	61,903,165株
期末自己株式数	26年3月期2Q	400,983株	25年3月期	400,350株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	61,502,381株	25年3月期2Q	61,503,312株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この第2四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国での景気回復がゆるやかに進む一方、欧州においては依然として景気が好転する大きな動きがない中で、中国や新興国の景気は減速気味で推移を続けております。一方、国内経済は、円高是正による為替相場の安定により輸出企業の業績は総じて回復基調で推移していますが、当社を含めた家電業界につきましては、海外メーカーとの熾烈な競争とテレビを含めたデジタル家電の消費低迷が継続しており、極めて厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境の下、当社グループは、経営理念である『VALUE CREATION』に基づき、最新機能を搭載したAVレシーバー等の高付加価値製品を市場投入する一方、ライフスタイルの変化に対応し、サウンドバーをはじめとする新たなサウンドシステムや、スマートフォンや携帯音楽プレーヤー等のモバイル音源を高音質で再生するヘッドホン等を市場に投入するなど、新たな顧客の創造に取り組んでおります。また当社グループは2005年より、日本で初めてハイレゾコンテンツ配信サービスをe-onkyo musicを通じて開始しており、CDの情報量をはるかに超えた音源プロバイダーの先駆者として、コンテンツの充実とサービス向上に注力し、音楽の入り口から出口まで一貫したハイレゾ対応に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、車載用スピーカーが好調に推移したことに加え、ヘッドホンやサウンドバー等ライフスタイル系商品の市場投入が寄与し、売上高は前年同四半期比1,154百万増収の17,091百万円となりました。一方、営業損益につきましては、欧州市場での販売低迷に伴う販売価格の下落などにより、前年同四半期比200百万円減益の824百万円の営業損失となりました。また、経常損益は、前年同四半期比430百万円減益の1,315百万円の経常損失となりました。四半期純損失につきましては、前年同四半期比228百万円減益の1,052百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

AV事業

AV事業におきましては、Bluetooth、Wi-Fi機能を内蔵したAVレシーバーのエントリーモデル発売に加え、テレビまわりの環境を手軽にアップグレードしBluetooth機能内蔵でワイヤレス音楽再生も楽しめるパーティタイプのサウンドシステムなど、新たなオーディオリスニングスタイルと高品質を両立させる新製品の市場投入を積極的に行いました。

国内市場におきましては、主力のミニコンポFRシリーズの新製品X-NFR7/NFR-9/D-NFR9の市場投入やサウンドバーSBT-100等の市場投入が寄与し、売上高は前年同四半期比130百万円増収の2,718百万円となりました。また、海外につきましては、欧州市場は低迷するも米国市場は堅調に推移したことや円安による為替の影響などにより、売上高は前年同四半期比818百万円増収の9,877百万円となりました。その結果、AV事業の売上高は前年同四半期比949百万円増収の12,596百万円となりました。損益は、欧州の市場価格下落などの影響により前年同四半期比247百万円減益の195百万円のセグメント利益となりました。

OEM事業

OEM事業における売上高は、車載用スピーカーが堅調に推移し、前年同四半期比511百万円増収の4,353百万円となりました。また、中国への生産移管による原価低減効果などが寄与した結果、損益につきましては、4百万円のセグメント利益（前年同四半期比141百万円改善）となりました。

その他

その他事業における売上高は、前年同四半期比306百万円減収の141百万円となった結果、損益は130百万円のセグメント損失（前年同四半期比9百万円改善）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,198百万円増加し28,485百万円となりました。有利子負債は前連結会計年度末比3,046百万円増加の11,421百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比58百万円減少の6,121百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期連結業績は想定範囲内で推移しており、通期の連結業績予想は、平成25年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後の事業環境の変化および当社グループ業績の推移を慎重に見極め、必要に応じて見直しを行い、変更があれば速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

リサイクル費用引当金

2012年6月30日にPC事業会社であるオンキヨーデジタルソリューションズ株式会社(以下、「ODS社」といいます。)をMoneual Onkyo Lifestyle Inc.へ売却するにあたり、過去のパソコンリサイクル費用の取扱いにつき協議を続けてまいりましたが、2013年7月1日付けの覚書により売却以前に販売されたパソコンに関わるリサイクル費用は当社負担とすることで合意に至りました。この合意に伴い、将来のパソコンリサイクルに要する費用に備えるため、対象売上台数と回収率を基準としてリサイクル費用の発生見込額を計上しております。なお、パソコンリサイクル費用の負担を引き受けるにあたり、その対価として同額の資産をODS社より譲り受けております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,172	4,906
受取手形及び売掛金	9,407	8,712
商品及び製品	1,928	3,569
仕掛品	70	90
原材料及び貯蔵品	398	568
その他	992	810
貸倒引当金	95	118
流動資産合計	17,874	18,539
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,563	2,563
その他(純額)	1,921	1,961
有形固定資産合計	4,484	4,524
無形固定資産		
のれん	364	366
その他	584	605
無形固定資産合計	949	972
投資その他の資産		
投資有価証券	3,687	4,045
その他	292	404
投資その他の資産合計	3,979	4,449
固定資産合計	9,413	9,946
資産合計	27,287	28,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,455	6,094
短期借入金	4,330	6,331
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,200	1,200
製品保証引当金	464	586
その他	3,437	2,759
流動負債合計	16,887	16,971
固定負債		
長期借入金	2,845	3,890
再評価に係る繰延税金負債	177	176
退職給付引当金	178	108
リサイクル費用引当金	-	167
その他	1,019	1,050
固定負債合計	4,220	5,392
負債合計	21,107	22,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	2,232	2,232
利益剰余金	594	553
自己株式	52	52
株主資本合計	5,402	4,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	561
繰延ヘッジ損益	171	7
土地再評価差額金	316	318
為替換算調整勘定	335	532
その他の包括利益累計額合計	274	1,419
新株予約権	22	22
少数株主持分	479	424
純資産合計	6,179	6,121
負債純資産合計	27,287	28,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	15,937	17,091
売上原価	12,084	13,216
売上総利益	3,852	3,874
販売費及び一般管理費	4,477	4,699
営業損失()	624	824
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	-	32
その他	30	125
営業外収益合計	36	162
営業外費用		
支払利息	95	98
為替差損	19	221
持分法による投資損失	12	-
支払手数料	81	252
その他	86	80
営業外費用合計	296	652
経常損失()	884	1,315
特別利益		
事業整理益	129	-
その他	30	-
特別利益合計	159	-
税金等調整前四半期純損失()	725	1,315
法人税、住民税及び事業税	70	35
法人税等調整額	29	151
法人税等合計	99	116
少数株主損益調整前四半期純損失()	824	1,199
少数株主損失()	0	146
四半期純損失()	824	1,052

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	824	1,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	96
繰延ヘッジ損益	4	178
土地再評価差額金	-	1
為替換算調整勘定	26	654
持分法適用会社に対する持分相当額	11	186
その他の包括利益合計	266	1,117
四半期包括利益	1,091	81
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,091	95
少数株主に係る四半期包括利益	0	176

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	725	1,315
減価償却費	334	351
貸倒引当金の増減額(は減少)	14	12
製品保証引当金の増減額(は減少)	36	90
退職給付引当金の増減額(は減少)	5	70
リサイクル費用引当金の増減額(は減少)	-	167
受取利息及び受取配当金	6	5
支払利息	95	98
為替差損益(は益)	64	38
持分法による投資損益(は益)	12	32
売上債権の増減額(は増加)	2,280	1,261
たな卸資産の増減額(は増加)	692	1,618
仕入債務の増減額(は減少)	3,258	1,715
未払金及び未払費用の増減額(は減少)	218	541
未収入金の増減額(は増加)	10	565
仮受金の増減額(は減少)	-	258
その他	58	7
小計	2,037	3,040
利息及び配当金の受取額	27	32
利息の支払額	99	106
法人税等の支払額	41	250
法人税等の還付による収入	227	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,923	3,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出(純額)	240	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入(純額)	10	-
有形固定資産の取得による支出	304	113
有形固定資産の売却による収入	3	128
無形固定資産の取得による支出	34	37
投資有価証券の取得による支出	157	147
子会社株式の売却による収入	95	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	627	170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	842	3,374
長期借入れによる収入	450	4,350
長期借入金の返済による支出	3,232	4,678
少数株主からの払込みによる収入	-	34
その他	57	61
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,997	3,019

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	234
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,580	265
現金及び現金同等物の期首残高	8,021	5,172
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,441	4,906

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	AV事業 (注1)	OEM事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,646	3,842	15,488	448	15,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	332	277	609	173	783
計	11,979	4,119	16,098	622	16,720
セグメント利益又は損失 ()	442	136	305	139	166

(注1) 「AV事業」の海外売上高は、北米4,061百万円、欧州3,588百万円、アジア1,097百万円、その他地域310百万円であります。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理および補修部品の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	305
「その他」の区分の利益	139
全社費用(注)	790
四半期連結損益計算書の営業損失()	624

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	A V事業 (注1)	O E M事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,596	4,353	16,950	141	17,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	96	113	215	328
計	12,612	4,450	17,063	356	17,419
セグメント利益又は損失 ()	195	4	200	130	70

(注1) 「A V事業」の海外売上高は、北米4,276百万円、欧州3,574百万円、アジア1,661百万円、その他地域365百万円であります。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理および補修部品の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	200
「その他」の区分の利益	130
全社費用(注)	894
四半期連結損益計算書の営業損失()	824

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費用であります。